



北鎌倉台峯トラスト 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

会報

北鎌倉だより

2006 年 1 月 NO.14



台峯の未来を見つめて

目 次

■ 台峯公園化の基本構想 基金としての提言	2
■ トラストの集い報告	3
■ ご支援ありがとうございます	4
■ 山の手入れのお誘い	6
■ 歩く会へどうぞ	7
■ 北鎌倉文学散歩	8
■ 理事に聞く	9
■ 会計報告	10
■ 活動報告 伝言板	11
■ 台峯の自然便り	12

台峯公園化の基本構想について

基金としての提言

会員の多くの人たちに後押しされる形で、当基金が存続することになり、その活動も第2段階に入りました。

活動の目的もこれまでと異なり、台峯を開発から守るということから、基金の設立当初の里山的保全及び自然と人間の共生を図るという大変大きなテーマの実現に向けて行動することになりますので、内容的にはそれほど簡単ではないと考えています。

前回の会報でも触れましたが、台峯の公園構想策定については5月に行われた市民からのアンケート結果でほとんどの人たちが台峯の植物や生物を保全した自然公園化を望んでいます。また私たちは、これまでは別々に台峯緑地の保全運動をしてきた他の団体の人たちと「台峯保全連絡会」を立ち上げ、お互いに協力しつつ行政と折衝することにしましたが、このメンバーも多くの市民と同様に自然を残しながら公園化するという基本的な考えでは変わりません。しかしこのように総論では完全に一致していますが、各論、例えば自然公園として中心となる谷戸の池をどのような形で保存するのかとか、管理棟などの施設はどうするのかといった公園化にあたっての具体的な問題になると基金の中でもまた連絡会としても様々な意見があり、現時点ではほとんど統一的な意見は定まっていません。これらは今後鎌倉市から提出される基本構想に基づいて、私たちの多様な意見を集約する形で具体化されるものと考えております。

鎌倉市の作成する台峯緑地公園化の基本構想については、最終的なものが出来上がってはいませんが、私たちの要望に応じて鎌倉市が素案の形で情報公開することになっています。

現在の予定では、一般市民を対象にした地域ごとの説明会が何回か開かれることになっていて、市民の声が反映されるような基本構想になる可能性があります。鎌倉市の説明によれば、基本構想は今年度中に最終決定される予定です。基本構想が決定されれば、それ以後については市民の意見が反映される余地は殆んど無くなると考えられますので、会員の方々は是非最寄の説明会場に出席して積極的な意見を述べて頂きたいと思います。

台峯の自然を保全するということは、台峯緑地の現状をそのままに保持することではありません。過日行われた私たちの集いにおける会員のフリートークキングにおいても、「現在、台峯の自然が死にかけている。もっと生き生きした台峯の自然を取り戻すべきだ。」という意見がありました。それは必ずしも昔の里山の状態に戻すということではなく、私たちが手を加えて、自然の植物や生物が人間と共生できる環境を整えるということに他ならないのではないかと考えています。

理事長 吉野 功

トラストの集い

円覚寺 帰源院

2005年11月13日 円覚寺 帰源院にて70名の参加のもと、第7回トラストの集いが開催されました。

吉野理事長からは台峯と当基金の将来について熱のこもった予定の時間を越えるお話がありました。一方なだ前理事長からはユーモア溢れるお話があり、もう少し伺いたいと思っていましたら、「日本には話にまとまりがなくともおしまいに出来る便利な言葉があります。『ちょうど時間となりました。』ということで・・・。」と時間通りに終わりました。

その後みどりショップ代表山下玲子様からのお祝いのメッセージが読み上げられ、当会の事業報告、会計報告も了承されました。

私たちはいくつかの幸運に恵まれました。保全活動の先行きが見えぬ辛い時期に、なだいなださんという強くしかもユーモアを絶やさぬおおらかなリーダーに恵まれたこと。台峯の自然について観察、調査し続けて来られ



た久保廣晃さんを歩く会のガイドに迎えられたこと。また保全の形を話し合う時期に台峯に関わった多くの団体とともに、市との交渉に明るく臨む吉野功さんという実務型リーダーを得ることが出来たこと。

第二部のフリートークでは、久保さんの問題提起の後、豊かな知識で歩く会を盛り上げる常連の方々をはじめ初参加の方も含め参加者全員の意見交換があり、鎌倉市内外の自然環境の悪化に対する危機感と台峯にかける熱い思いを共有した心弾む集いとなりました。



吉野新理事長挨拶

私たちの基金は鎌倉市による台峯の保全の決定を受け、開発阻止ではなく保全のしかたを考える会として新しく出発した。台峯緑地保全活動をしていた各団体が同じ場に集うことが、前理事長からの課題であったが、今年6月私たちの呼びかけで台峯の保全形態を考える「台峯保全連絡会」というかたちで実現した。

また緑地保全積立金はまだ台峯の保全が完全に終了した訳ではないのでそのまま保持し、今後も寄付金収入は積み立てていく。

なだ前理事長挨拶

とかく医者は専門バカが多く困ったものだ。自然保護も広い視野で考えなければならぬ。市は保全の約束はしたが、その中身は必ずしも信用できない。さらに鎌倉ではミニ開発が進んでいる。また鎌倉だけ緑が守られればいいというわけではなく、広い視野で日本中の緑のあり方を考えなければならない。

ヨーロッパにある環境政党のように日本でも自然環境全般を考える「みどりの党」のようなものが出来てほしい。理事長は辞めたが今後も手伝っていききたい。

第二部 台峯の未来を語ろう

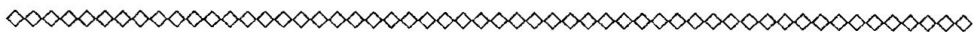
「現状報告と今後の課題」 久保廣晃理事

台峯の樹、池、里山のすべてが先祖のつくった遺産で、我々はそのお蔭を蒙っている。今までは開発か保全かという視点で考えられてきたが、これからは違った視点で考えていかなければならない。台峯の将来について、車、道、トイレなど、どうしたらよいのか。人が入ることを前提にどのような形で自然を守っていくかというのは難しい課題だ。従来行政は自然を守りたいとする人たちと意思疎通のないまま土木技術的な観点でことを運んできたきらいがある。台峯に関わったいろんな会が集まり、公の場で話し合い決めていく形がよい。来年春には台峯保全基本構想が出来上

がり、それで保全のあり方が大きく決まってしまうので、のんびりしてられない。

フリートーク

- 山が荒れているので蔓の除去、倒木の始末や下草刈りなど手入れが必要。
- 舞岡公園の活動に参加して思うが、たくさんの人が関わらないと手入れは出来ない。
- 台峯は今の自然を大切にしたい。とにかく人の手をなるべく入れないでほしい。
- 中央公園のようなところにしてほしくない
- 何を作ってほしいか、何を作ってほしくないかを明確にすべき。
- 昔のいたるところにあった里山と今残すべき里山は少し違っている。 など。



ご支援ありがとうございます

台峯緑地は何度か開発計画が浮上しながらも、皆様既にご存知のように鎌倉市の買収による保全が決まりました。ここに至るまでに多くの保全を願う方々のたゆまぬ努力がありました。今回は私たちのトラスト運動を支えてくださった方々のうち「みどりショップ」、「リラ自然音楽研究所」、「パタゴニア鎌倉」をご紹介いたしまして改めて感謝を捧げたいと思います。

みどりショップの会

代表 山下玲子

「リサイクルショップ・みどりショップ」は、7年前鎌倉三大緑地の開発が活発になったとき、「鎌倉の緑とこれ以上失いたくない」と思う仲間が、緑地保全運動をしている仲間を支援しようと誕生しました。オープン資金300万を一人1万円の出資金を出し合い、お店を探し、なんと3ヶ月で開店を実現。今までに約1,500万円寄付することができました。資金援助だけでなく多くの人に保全活動を知らせること、それぞれの市民活動の

拠点になることをも目標にしています。今では、多くに方々の散歩コース、商店街の活性化に役立つ等、当初想像もしなかった様々な波及効果に私たち自身が驚き、具体的に動くことの大切さを知りました。さらなる目標は、暮らしを豊かにするため、私たちの様に、市民が様々な市民事業を地域に生み出し、街づくりが進展したら良いと思っています。御成り商店街を通ったら是非一度ショップを覗いてみて下さい。

鎌倉市御成町2-9

Tel: 0467-25-2239

リラ自然音楽研究所 「北鎌倉の風運動」

熊谷えり子

歌声で地球の緑を守ろうと、自然音楽発生当初からボランティア活動（コンサート、講演など）に私共は積極的に取り組んできました。地元の台峯緑地はまず守るお手伝いをしたいと、1999年4月5月のグリーンチャリティー青木由有子コンサートを皮切りに、2000年6月からは1年おきに台峯トラスト主催の青木由有子コンサートで協力させていただきました。またトラストの足しにはなりませんが、台峯緑地を元気づけたい、歌でエネルギーを送りたいと展開したのが「北鎌倉の風運動」です。山波言太郎作詞青木由有子作曲の「北鎌倉の風」や他の自然音楽を現地に行って歌うこの運動を、2000年10月26日から現地で毎月2～3回有志の小グループで行い（広町も保全決定まで併せて行く）、2004年12月に台峯全面保全が発表されるまで丸4年続け終了しました。

地元の緑を守ることで地球の自然を守りたい、そんな思いで現在は毎月1回「池子の森」（逗子市横浜市）を守るための歌声の会を現地2ヶ所で行っています。

さて、台峯はこれからどのように保全されるのでしょうか。理想の里山として公園化されるには、どれ程の難問を越え、多大の資金、知恵、時間、人手が必要か、大変な事です。でも人間も無償の愛で私達を生かしてくれる自然を見習って、「台峯さん」の為に純粋な愛と奉仕の精神で取り組むならば、きっとすてきな人と自然の愛のシンフォニーが流れる所になるはずです。子供達のために心からそうなる事を願っています。

??? 全く全くこの公園林の黒い立派な緑、さわやかな匂、夏のすずしい陰、月光色の芝生がこれから何千人の人たちに本当のさいわいが何だかを教えるか数えられませんでした。（宮沢賢治の童話「虔十公園林」より）

鎌倉市小袋谷 2-14-34 第1サニービル

Tel : 0467-45-1230

<http://www.lyra.co.jp/>

パタゴニア鎌倉ストア

藤堂光樹

「パタゴニア鎌倉ストア」では地元の自然保護に対して、「自分たちにできることから何か行動を起こしてはじめたい」という気持ちから、お店のお客様や、パタゴニアの他部署スタッフに呼びかけて、台峯をより多くの人々に知ってもらうためのウォーキングを定期的に実施してきました。地元の方ばかりでなく、遠くは茨城県から、他にも埼玉、千葉、東京と遠方からの参加者が多く集まったことがとても印象に残っています。

保全が決定した今、その自然を維持していく為の活動も、これまで以上に時間と労力を要し、大切な役割だと、感じています。これからも「パタゴニア鎌倉ストア」では台峯里山整備と題してお店のお客様に呼びかけて、北鎌倉・台峯トラストが行っている山の手入れ活動に定期的に参加して、より多くの方々に台峯を体感してもらいたいと考えております。ぜひみなさんも気持ちのよい汗をかきにいらして下さい。

鎌倉市小町 1-13-12 本覚寺ビル

Tel : 0467-23-8970

http://www.patagonia.com/japan/culture/store_kamakura.shtml

山道の手入れのお誘い

久保廣晃

自分たちが歩く道を自らの手で・・・
山歩きの前日に有志が行う、山道の手入れ作業が始まって3年、参加者も増えつづけ、本番の山歩きに迫る勢い？になってきました。

山道の手入れの楽しさ、
その一は、自然とゆっくり対話できること！
第三日曜の前日の土曜日の10時に台峯に集合、山之内配水池から見る富士山と丹沢の山並みは格別です。カマや刈込バサミを手に山道の手入れに出発。各自分散して、所々の道におおいかぶさったツル草やササを刈り込んでいきます。風に揺れる木々やせせらぎの音



に耳を傾けながら汗を流しましょう。ふと手を休めると野鳥の気配が・・・いつのまにか生き物たちに囲まれているのに気づきます。

楽しさ、その二は、森の喫茶店？

作業は二時間以内で終わるので、どなたも無理なく参加できます。一汗かいた後は楽しくティータイム。常連の方々が用意してくださったお茶やお菓子をいただきながら歓談しましょう。この喫茶店、開店休業は店主任でするので念のため。

楽しさ、その三は、台峯を自分の庭に出来ること！

毎月歩く台峯は別荘の庭のようなもの。歩くだけではもったいない。手入れをすれば愛着も倍増します。

里山の手入れで日本式のガーデニングを楽しんではいかがでしょうか。日本の里山は、地元の人達が数百年



も手入れして作り上げた広大な庭と言えるかもしれません。もちろん鑑賞のためではありませんが、生活に役立つ草木が田畑の周辺で育つよう工夫をこらして管理していたのでしょう。花の咲く野草も大切にしていたようです。今も台峯には、昔の名残であちこちに野草の種子が埋もれています。ササやアオキなどを刈り込めば、日当たりが良くなって埋もれていた種子が発芽して花が咲くことでしょう。どんな花が咲くかはお楽しみ。山道を歩きやすくするためササやツル草を刈ることで野草が増える。山道の手入れは一石二鳥なのです。「私の刈った道端に花が咲いた！」そんな感動を味わってみませんか。今年の春あたりから昨年の作業成果が期待されます。乞うご期待！台峯の仲間を増やそう。



市川節子

開発計画に危機感を持ち、保全を願い、台峯を知ってもらおうと始めた歩く会ですから、この楽しさは危機感の賜物？です。



初めて参加した方は土の上を歩くことの気持ちよさに気がつきました。吹く風や花の香り、土のにおい、水の音に感激し、鎌倉にこのようなところがあったのか、と驚くのです。いろんな樹があり、いろんな野草があり、いろんな鳥が飛ぶ。 何度か参加して久保さんや池さん、常連の参加者に教えてもらい分かってくるのです。いろんな樹ではなく、コ



分きたい学びたい気持ちが湧いてくる。分かれると楽しい！それで次の世代にもこの楽しい場を残したいと改めて感じるようになる。歩く会はこれからも進化していきます。

鳥の行水

和泉あき

本屋に行けば鎌倉関連の本がコーナーにあふれていますし、各種ミニコミ誌にもいろいろな連載がありますので、もう北鎌倉に関しては私の力ではネタ切れですとお断りしたのですが・・・。

今年の9月『鎌倉の地名由来辞典』（東京堂出版）という本が出ました。凡例によれば「いわゆる鎌倉文化圏とみられる横浜、逗子、藤沢各市」の地名の由来を403項目について専門的に校証されたもので、任意にあちこち見ていくと興味が尽きません。ちなみに台は「葛原が岡北側から西側に広がる低い丘陵をいい、早く弥生、古墳時代から人が住んでいた」ということです。山ノ内「鎌倉時代を通じて狩場や逍遙、納涼、そして葬地でもあった」といいます。そんなことを踏まえて、毎月の山歩きをするといろいろな想像が湧いてきて一層興味がつきません。また『鎌倉古寺を歩く宗教都市の風景』（吉川弘文館）を上梓された松尾剛次氏が同社のPR誌「本郷」に「魔界都市鎌倉」という文章を寄稿されています。詳細は直接当たって頂けるとよいのですが、比較的狭い土地であれほど頻繁な権力者の交替、政権の内紛があったのですから、ここは怨霊が充ち満ち、それを慰撫鎮魂するために建てられた寺社が多かったのは容易に推測されるところです。江戸時代縁切り寺としてしられた、私たちにも身近な東慶寺についても、開山の覚山志道尼は安達義景の娘で、北条時宗と結婚し、貞時を産んだ女性なので



メジロの行水

すが、彼女はその息子によって実家の安達一門を滅ぼされてしまいます。松尾

氏によれば、東慶

寺は彼女によって安達一門の鎮魂と、争乱の中で生じた寡婦の救済のために建てられた寺ではないかと推測されています。鎌倉の寺の多くが矢倉を背負って谷戸にある故なのかもしれませんが、どんなに晴れた日でも冷えびえとした風が吹きわたっているように感じるのは私だけでしょうか。

ところで話は全く変わりますが、今年も11月に「会員の集い」を円覚寺帰源院で行いました。その数日前、打合せに伺ったのですが、同行の人より早く着いてしまったため、暫く一人で書院に座ってボンヤリ前庭を眺めていました。突然、鳥が舞い降りて水がめに直行しバシャバシャ、また飛び降りてバシャバシャ、「あ、これが鳥の行水だ」と思いました。おふろに入ってすぐ出てくる事を「鳥の行水」というのは知っていましたが、目の前にみたのは初めてで私は思わず笑い出してしまったことでした。そういえば由比ガ浜辺りに遠足に来る子どもたちのお弁当からいなり寿司が鳶にねらわれていると聞いたことがあります。「鳶に油揚げ」なのですね、昔の人は身近に動物や植物をよく見ていて、くらしの一部としてこのようなわざを生み出して行ったのでしょう。

景観とは単に自然の景色をさすのではなく文化の堆積としての歴史の重さを踏まえたことばなのだろうと、私は思います。

理事に聞く



森泉定男

生涯現役で、現在国策事業に従事しています。

担当 地域住民としての台峯保全活動

抱負 限りなく自然を残した保全

好きなポイント 全て

望月真樹

鎌倉生まれの鎌倉育ちで 60 年

担当「台峯のみどりを守る会」当時からかざえると 20 年近く、保全活動の手伝いをさせてもらっています。現在事務局担当

抱負 長年山をやってきたものとしては「やっと 8 合目かな」実は 8 合目からが大変なんです。気を引き締めていきたいと思っています。

好きなポイント 老人の畑からの眺望

望月晶夫

平日は会社、休日は台峯関係と少々多忙です。

担当 企画担当。「台峯」に関わって 14 年になります。

抱負 出来る限り現状の生態系を守りたいと考えます。

好きなポイント 子供のころの北鎌倉が残されている台峯は全て好きです。

小田原 茂夫

鎌倉に移り住み、20 年、早いものです。

担当 事務局、チラシ製作に勤しんでいます。

抱負 どうも日本人は内向きになりやすく、外交から住民運動に至るまで、外の世どう働きかけ、居り合いをつけるかが不得手な国

民です。民族の悲しい宿病なのではないでしょうか。せっかくのエネルギーをもっと外に向けた建設的、且つ提案型の組織にして行きましょう。好きなポイント「老人の畑」からの眺望。新

和泉あき

札幌生まれ新潟育ち。七年前まで相模女子大学国文科の教師でした。戦後 60 年いろいろなことがありました。

担当 1998 年秋から事務局。小林さんが亡くなられたあと窓口になっています。

抱負 今まで同様細く、事務を受けもっていくつもりです。

好きなポイント 東京から帰って来て北鎌倉に着くとホッとします。何しろ家の窓から円覚寺の杜も台峯も見えるのですから。

新楨 幸子

もうこれ以上緑地を壊してどうするの？・・・あれから十数年がたちました。

担当 会計（事務局）

抱負 後世に伝えようと大きく出た以上若い方々に活動を繋いでいかなくては・・・魅力ある会にしたいと願っております。お知恵を拝借できないでしょうか？

好きなポイント 葉が落ちて、広くなった冬の青い空を見上げるとハンノキが春の訪れを待つかのように、今にも噴出したがっているちいちゃなちいちゃな芽が銀色に輝いているそれを見たくて続けてきた気がします。

（順不同）

会計報告

(17年4月1日より12月31日まで)

特定非営利活動法人
北鎌倉の景観を後世に伝える基金

	科目	前期より繰越	4月から12月まで	摘 要
収 入	正会員費		68,000	21名@ ¥3,000
	個人会費		422,500	378名プラス家族120名計498名
	団体会費		12,000	4件
	民間助成金		42,925	募金箱1,425他
	寄付金		165,000	みどりショップ ¥95,000他3名
	街頭募金		2,700	山歩き
	機関誌収入		10,000	20冊
	受取利息		10,060	鎌倉緑債他
	雑収入		2,700	絵葉書
	収入合計		735,885	
支 出	(緑地の保全・管理事業)			
	整備作業費			
	賃借料		12,000	道具小屋借地代
	消耗品費		15,242	鎌倉磁器代
	(普及・研修・事業費)			
	通信費		73,890	会報他
	旅費交通費			
	会議費		12,265	寒い飲料
	印刷製本費		24,780	山歩きチラシ、会報
	諸謝金		33,150	山歩き、寒い
	事務消耗品費		22,712	寒い、山歩き、会報
	賃借料		57,000	山ノ内公会堂(山歩き)
	損害保険料			
	(広報・出版事業費)			
	通信費		29,662	ホームページ国線使用料
	印刷製本費			
	編集費		50,000	旧ホームページ廃止料
	諸謝金		20,000	ホームページ
	(交流・協力事業費)			
	負担金		50,000	NTトラスト協会
	研修費		1,500	飯田参加費
	民間助成金		3,000	NPOセンター会費
	旅費交通費		13,580	飯田参加費
	雑費、その他		370	振り込み料
	(管理費)			
	旅費交通費		3,700	小田原
	通信費		123,830	会員宛アンケート、入金票込料、会員証送付
	事務消耗品費		45,063	コピー用プリペイドカード、封筒他
	賃借料		24,000	山ノ内公会堂
	会議費			
	雑費		33,655	登記料他
	支出合計		649,399	
保 有 資 産 ・ 負 債	現金		10,898	
	当座預金	667,065	771,665	郵貯
	普通預金	466,848	435,876	郵貯 ¥83,723 東三 ¥459,013
	定期預金	12,001,885	12,003,843	郵貯 ¥9,628,029 東三 ¥2,375,814
	鎌倉市債	1,000,000	1,000,000	大和証券鎌倉支店
	合計	14,135,596	14,222,082	
	差引正味財産		14,135,596	14,222,082-14,135,596=86,486

繰積立金

¥13,000,000

活動報告

(2005 年 8 月～2006 年 1 月)

1. 定例理事会 8/7,9/4,10/2,11/6,
 12/4,1/8
2. 臨時理事会 7/24
3. 台峯を歩く会 8/21,9/18,10/16,
 (関連記事 P 7) 11/20,12/18,1/15
4. 山道整備作業 8/20,9/17,10/15,
 (関連記事 P 6) 11/19,12/17
 1/14 (雨天中止)
5. 台峯連絡会 8/24,9/12,27,11/9,
 15.29,12/11,1/8
6. トラストの集い 11/13
 (関連記事 P 3)
7. 会 報 14 号 1 月発行

新規会員募集中

年会費 年 2,000 円

会費及び寄付金の振込先

郵便口座番号 00250 - 2 - 20454

口座名 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

会報 14 号

発行日 2006 年 1 月 31 日

発行者 NPO 法人

北鎌倉の景観を後世に伝える基金

事務局 鎌倉市山ノ内 704-9

TEL 0467 - 47 - 9892

e メール moc@kamakuranet.ne.jp

HP http://www/kitakamakura-trust.org/

写真提供 池 英夫 ・石原 瑞穂
市川和夫

伝 言 板

定例行事

山歩き

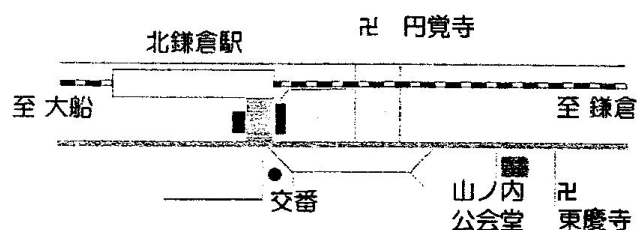
毎月第 3 日曜日

今年の予定

2/19・3/19・4/16・5/21・6/18・7/16

時間 集合午前 9 時 解散 12 時頃

集合場所 山ノ内公会堂 (東慶寺手前)



山道の手入れ

毎月山歩きの前日の土曜日

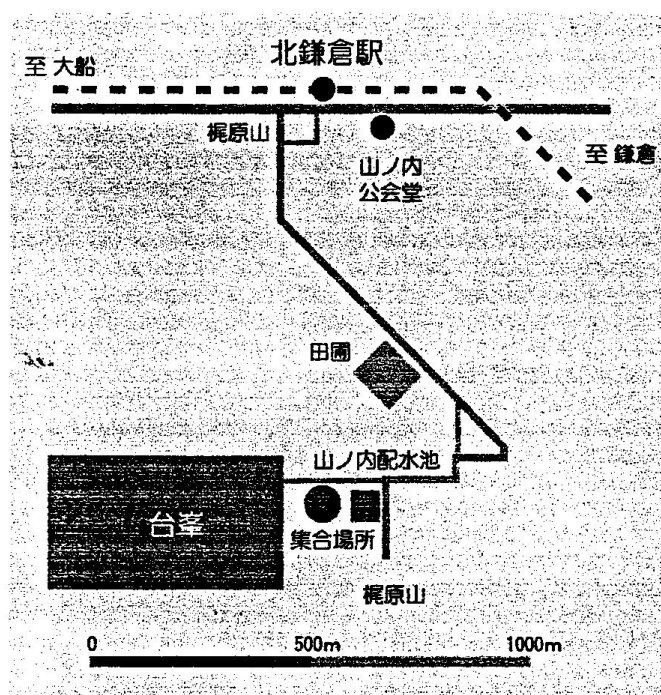
今年の予定

2/18・3/18・4/15・5/20・6/1・7/15

時間 午前 10 時 解散 12 時

集合場所 山ノ内配水地ヨコ当会

「物置小屋」前



台峯の自然便り 早春の山道で会える小さな花たち

写真 池 英夫



ホトケノザ



タチツボスミレ



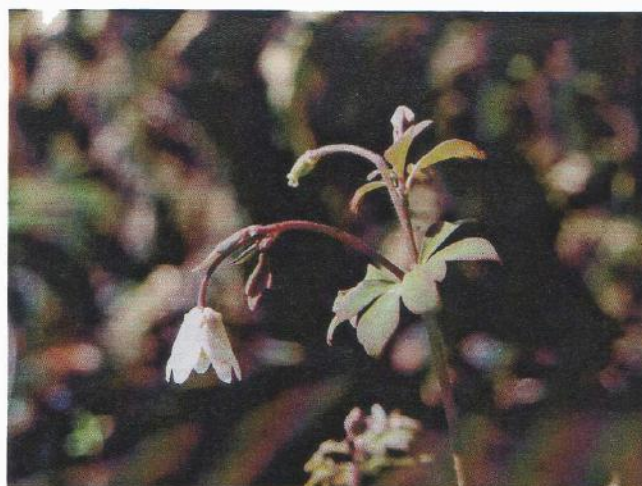
オオイヌノフグリ



ムラサキケマン



カントウタンポポとムラサキケマンの群生



ヒメウズ